下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD） クリニカルパス

様

	治療前日 ／	当日治療前（入院） ／	当日治療後（入院） ／	治療後1日目 ／	治療後2日目 ／	治療後3日目 ／	治療後4日目 ／	治療後5日目（退院） ／
観察		入院時に体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります	治療後に体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります	状態により適宜行います				
		呼吸の状態、腹痛、吐き気、嘔吐、出血、便の性状などの症状を観察をします。（便に血が混じるようであれば流さず看護師に教えてください）何か変わったことがあればお知らせください						
安静		制限がありません	検査後数時間は、 ベッド上で安静にしていただきます 治療後初めて歩く時は、看護師が 付き添います	制限がありません				
食事	夕食は夜7時までにお召し上がりください 水分は制限ありません	＊朝食を摂ることはできません ＊水かお茶を飲むことができます	＊食事を摂ることはできません ＊水分を摂ることができる時間は 医師に確認し看護師がお伝えします	食事を摂ることはできません 水分は摂ることができます		医師の指示で 昼食より3分粥がでます その後5分粥、全粥と食上げしていきます		
清潔	検査の準備として入浴、洗髪を しましょう マニキュアはとってください	入浴はできません 化粧は治療前にお取りください	入浴できません 洗面・歯磨きはできます	体を拭くことができます。	便に血が混じらなければ、シャワー浴・入浴ができます 点滴があるため、シャワー浴・入浴を希望されるときは看護師に声をかけてください 一時的に点滴をとめて入浴することができます			
排泄		＊治療前にトイレにいきましょう	＊安静のためベッド上で行っていただきます ＊治療時間により尿の管が入る場合があります	歩いてトイレに行くことができます				
診察・処置		入院手続き後に内視鏡室で洗浄剤の内服を行います 午後、内視鏡室で治療を行います		医師の診察があります				
検査			治療直後、腹部レントゲンがあります	朝、採血があります		朝、採血があります		
薬物療法 点滴		治療前に止血剤・抗生剤の 点滴を開始します	治療後に止血剤・抗生剤の点滴を行います 腹痛や吐き気が出現した際は症状に応じて、 医師と相談の上、薬を使います	止血剤入りの点滴を常に行います 朝と夕に抗生剤の点滴を行います		止血剤の入った点滴は3日目～4日目の昼食前まで続きます		
薬物療法 内服薬	＊次の薬は、 ／ から 中止してください （ ） ＊外来で案内されている通りに内服してください	＊朝の薬は内服してください ただし、次の薬は中止してください （ ） ＊入院時、内服薬はすべて 持参してください	＊常用薬を内服するかどうかは 看護師がお知らせします お知らせするまでは飲まないください					
説明指導		＊看護師より検査の説明があります ＊薬剤師から薬の説明があります ＊治療の同意書を確認します 治療・鎮静の同意書を持参してください ＊眼鏡、コンタクト、時計、ピアス、 義歯、指輪、ネックレス、ヘアピン、 補聴器などの金属類をはずしてください				＊病院食以外の間食をしないでください 退院までに薬剤師から服薬指導があります		退院後の生活について説明します 次回外来の予約券、内服薬をお渡しします
目標	＊検査の必要性と方法を理解し、 検査に臨むことができる	＊入院中の予定がわかり、 治療後の注意点が理解できる	＊治療による大きな副作用（出血・穿孔）がなく経過する ＊痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるか （痛みの程度は数字の0から10「0：痛みなし 10：想像できる最大の痛み」）を医療者へ伝えることができる ＊赤い便、黒い便が出たときにすぐに看護師に報告できる		＊食事制限を守ることができる			＊痛みがあるときは、部位や程度を医療者に伝えることができる ＊食事制限を守ることができる ＊赤い便、黒い便が出たときにすぐに看護師に報告できる ＊退院後の生活の注意点がわかる

症状・経過によってはスケジュール通りならない場合があります

2016年9月作成(2020年7月改訂） パス委員会承認 聖隷浜松病院B6病棟